

バージョン情報: TOCOM Gateway 7.18.4 (win64)

重要

TOCOM 7.18.4 Gateway は、2016年9月20日の実動環境で実施される、次期 J-GATE API のアップグレードをサポートしています。

アップグレードの理由

TOCOM 7.18.4 Gateway は、2016年9月20日の実動環境で実施される、次期 J-GATE API のアップグレードをサポートしています。すべてのお客様が、9月16日(金)の取引終了後、9月20日(火)の取引開始以前に、このパッケージへのアップグレードを行う必要があります。

本バージョンでの主な変更点は以下の通りです。

- 次期 J-GATE の TOCOM Gateway は、Windows Server 2008 64 ビット等の 64 ビットオペレーティングシステムが必要です。
- TOCOM 7.18 Gateway はマーケットデータの配信に ITCH および OM プライスフィードが必要です。設定の詳細に関しては [TT TOCOM Migration Guide](#) をご参照ください。
- 新規銘柄としてミニ金/ミニプラチナの SCO (スプレッド) が追加されました。
- 取引時間を拡張します。
 - 日中立会 8:45~15:15
 - 夜間立会 16:30~5:30 (ゴムの夜間立会は 19:00 終了、変更なし)
- Fill Server のロールオーバーを 16:03 に変更します。
- 取引所タイムスタンプが日本時間から UTC (GMT) に変更されます。それに伴い、約定一覧の『取引所時間』と『取引所処理日』の項目が UTC に変わります。
- 先物とオプションに引け板合わせが導入されます。
- SCO (スプレッド) に寄付板合わせが導入されます。SCO 同士の引け板合わせは行われません。
- トリガー注文の取引所によるサポートが廃止されます。ストップ注文には SSE を使用する必要があります。
- 限月の表示が変更になります。旧システムでは限月表示でしたが、新システムより取引所の設定する以下の日付が表示されます。これにより、限月の前月もしくは翌月の日付が表示される銘柄があります。
 - 最終取引日 受渡決済商品
 - SQ 日 差金決済商品およびオプション
 - 固定日 (2079/12/31) 金限日取引例) CRUD (ドバイ原油) は差金決済で SQ 日は翌月の第一営業日となるため、17年1月限は現行システムの表示“2017/01”から“01Feb17”へと変わります。
- サブアカウントの FFT3 への入力が必要となります。リスクアカウントが FFT3 から Account# へ変更になります。
- ノン・キャンセル・ピリオド (NCP) が導入されます。
 - 日中立会の引け板合わせを除く、板合わせの 1 分前は変更およびキャンセルが取引所により受付拒否となります。
- テイラーメイドコンビネーション (TMC) が Strategy として利用可能になりました。金オプションで組み合わせが可能です。(レシオは当面 1 のみとなります)

システム要件

重要な注意点: 次期 J-GATE の TOCOM Gateway は、Windows Server 2008 64 ビット等の 64 ビットオペレーティングシステムが必須となっています。

詳細は、『[TTトレーディングシステム - ハードウェアとソフトウェアの推奨要件](#)』をご確認ください。

インストールとアップグレードの注意点

TT TOCOM 7.18.4 Gateway をインストールする際に、以下の要件に注意してください。

- 32 ビットから 64 ビットに構成が移行されるので、クリーンインストール、またはアンインストール/再インストールを行って頂く必要があります。
- 任意の 7.18.0.X バージョンからこの製品リリースバージョンにアップグレードすることで、すべての構成ファイルが上書き変更されます。以前に 7.18.0 がインストールされていたサーバーでアップグレードを行われるお客様は、構成ファイルのバックアップを行い、ファイルを再使用するか、または必要に応じて変更されることをお勧めします。
- 本以降の重要点として、7月15日(金)の取引終了時に、取引所はすべての約定待ち注文の削除を行うことに注意してください。
- 注:アップグレード後に合成注文は非管理 (Unmanaged) 状態となるので、TT では、すべての合成注文も同様に削除されることをお勧めしています。

既知の問題

- ナイトセッション終了後に出来高等の情報がリセットされてしまう問題。